

草加市倫理法人会(4月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。
会社が良くなる。
不況に負けない。

四月二日(木) 第八九五回

◇ 講師 石塚 光宣 前 草加市消防長

◇ テーマ 「草加市の消防力と大規模災害時の対応」



草加市の消防の職員は二百三十四名。その下に消防団があり、訓練など高い出席率である。近年、消防団も高齢化、サラリーマン化している。以前は自営が多かった。災害件数は減っている。建物の防火性能は上がっている。出火原因の一位は放火である。昨年は自動販売機への放火が連続した。出火後六分三〇秒を過ぎると延焼の可能性が増える。近年は六分消防を達成している。救急車は七台、救急件数は一万件以上と増加している。阪神淡路大震災では、家屋倒壊、家具転倒での死者が圧倒的に多かった。草加市で大規模災害時に三百人の自立脱出困難者が出ると予想されている。家具の転倒防止、建物の耐震検査などして、少しでも脱出困難者を減らしたい、と現役さながらに熱く語っておられた。

大井 直人 記



四月十六日(木) 第八九七回

◇ 講師 入江 元太

(株) 朝霞市倫理法人会 幹事
入江感動経営研究 代表取締役

◇ テーマ 「日本の歴史と倫理」

私たち日本人は、戦後G・I・Qの占領政策によって、民族の誇りや自信を失ってしまった。正しい日本の歴史を教えることなく若者は自国や自分自身に対して肯定感を失ってしまった。日本の建国は世界最古であり、それだけでも素晴らしいことである。第二次世界大戦は敗戦に終わってしまったけれど、アジア諸国の解放という役目は果たしている。もっと日本の歴史を知るべきである。東日本大震災では「自分の命より人の命を優先する。暴動も起こらない」という事実が日本人のDNAの凄さを教えてくれた。日本創生の力ギは「明朗、愛和、喜働」の教育である。即ち、倫理普及活動こそが日本創生に繋がるのである。みんなで実践していきましよう!



帆刈 裕子 記

四月二十三日(木) 第八九八回

◇ 講師 花輪 喜美江

埼玉県倫理法人会 副幹事長
(株) エコプライム代理店 代表

◇ テーマ 「明朗・愛和・喜働の実践」



私は幸手市で生れ、両親が三歳の時に離婚したため、母と一緒に暮らした。会社経営者の夫と結婚した後しばらくは二人の子育てに専念したが、会社の経理を担当していた義母が病気になる、私が会社の仕事もなくなってはならなくなった。子育てと仕事に追われ、夫に対する不満が募り、夫婦喧嘩が絶えなかった。そんな頃に倫理に出会った。会社が倒産の危機に陥り、初めは相手の会社や他人を責めていた私であったが、自分に何が出来るのかを考えた時、一つ屋根の下で家族と一緒に暮らしているというありがたみを感じる事ができ、明朗でいようという実践を与えられた。今の私に出来る事は、笑顔(明朗)夫婦で一緒に働く事はとても幸せであり(愛和)仕事がある事は有難いこと事である(喜働)。三歳の時に生き別れた父は既に亡くなっていたが、年に数回お墓参りをし、何があっても自分は父に守られていると感じている。

小笠原 薫子 記

四月三十日(木) 第八九九回

◇ 講師 センジャー

馬頭琴 奏者

◇ テーマ 「対面力と会う力」



草加では二年ぶりに講話させてもらう。二〇〇〇年に来日、十五年がたった。長いようで短い十五年、最初は日本語が解らなかつたが人とほとんどん会って日本語を理解していった。インターネットその他でもわかる時代だが、やはり人と会って、対面して理解は深まるものだ。二年前は自分一人だったが今回は二人で来ました。自分の夢の為に生きていた一人の時・・・今は彼女と「二人の夢」の為に頑張っていく。せんべいで有名な草加・・・「せんべい」に「の」を付けるとモンゴル語で「こんにちば」になります。「センベイノニ」こんにちばは「覚えて下さい。小学校の教科書にも出てくる「馬頭琴」これは幸福を呼び楽器です。馬頭琴の事、モンゴルの事を知ってもらうため、日本各地、特に子供たちに聴いてもらいたい。(★二曲演奏、その後サプライズで演奏に合わせて奥様が歌を歌って下さいました。)

早川 純一 記

モーニングセミナー
毎週木曜
AM6:00~7:00

(会場) 埼玉屋旅館内
草加市高砂1-10-13
Tel 048-922-4141

(お問い合わせ先) 草加市倫理法人会 事務局
八潮市柳之宮196-14 (有)アイビルド設計内
Tel 048-998-8868 (HP): <http://www.rinri-soka.org/>